

高浜市議会だより

# びらおる



contents  
目次

- P2 ~ P3 ……12月定例会：議案の件名・議決の結果（議員の態度）
- P3 ~ P8 ……市政のここが聞きたい（一般質問）
- P9 ……定例会中継案内、3月定例会日程・傍聴案内
- P10 ……広聴会実施報告、編集後記



<h1>12月定例会</h1> <p>(会期：11月25日から12月17日まで ・23日間)</p> <h2>議案等の件名・議決の結果 (各議員の態度)</h2>		議決結果	会派・議員氏名 (○=賛成・●=反対)											
			市政クラブ					公明党		共産党	高志クラブ	新政会	高浜市民の会	凛々会
			橋本友樹	荒川義孝	神谷直子	長谷川広昌	北川広人	鈴木勝彦	今原ゆかり	野々山啓	柴口征寛	岡田公作	黒川美克	倉田利奈
種類番号	件名													
諮問第2号	人権擁護委員の推薦について	異議のない旨答申	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第67号	財産の交換について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	●	○	
議案第68号	高浜市税条例及び高浜市都市計画税条例の一部改正について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	●	○	
議案第69号	高浜市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第70号	高浜市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	●	○	
議案第71号	高浜市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の全部改正について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第72号	高浜市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の全部改正について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第73号	令和7年度高浜市一般会計補正予算(第8回)	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	●	●	
議案第74号	令和7年度高浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2回)	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第75号	令和7年度高浜市介護保険特別会計補正予算(第4回)	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第76号	令和7年度高浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第77号	令和7年度高浜市水道事業会計補正予算(第2回)	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第78号	令和7年度高浜市下水道事業会計補正予算(第2回)	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第79号	高浜市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	可決	○	○	—	○	○	○	○	●	○	○	●	
議案第80号	高浜市特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可決	○	○	—	○	○	○	○	●	○	○	●	
議案第81号	高浜市職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	

12月定例会 (会期：11月25日から12月17日まで ・23日間) 議案等の件名・議決の結果 (各議員の態度)		議決結果	会派・議員氏名 (○=賛成・●=反対)										
			市政クラブ					公明党	共産党	高志クラブ	新政会	高浜市民の会	凛々会
			橋本友樹	荒川義孝	神谷直子	長谷川広昌	北川広人	鈴木勝彦	今原ゆかり	野々山啓	柴口征寛	岡田公作	黒川美克
種類番号	件名												
議案第82号	令和7年度高浜市一般会計補正予算(第9回)	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第83号	高浜市特別職の職員で常勤のものの特例に関する条例の制定について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	●	●
報告第14号	専決処分の報告について	報告事項	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
議員提出議案第4号	高浜市議会の議員の期末手当の支給割合の特例に関する条例の制定について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	●	●

※神谷直子議員は、議長職のため表決権はありません。

## 会議録は順次公開しております。

市公式  
ホームページ



「トップページ」→「高浜市議会」

→会議録「定例会」「臨時会」「委員会」「特別委員会」

ご覧になりたい「会議録」を選んでください。

URL <https://www.city.takahama.lg.jp/site/gikai/>

# 市政の ここが聞きたい!!

## 一般質問

一般質問は、定例会で議員が議案に関係なく、市政全般について市の方針をたずめるものです。

(高浜市議会会議規則 第61条 議員は、市の一般事務について、議長の許可を得て質問することができる。)

なお、掲載文は、議員本人作成(文責)の原稿です。



P4~P6



P7~P8



倉田 利奈 議員

### 財政について

**問** 実質単年度収支は、その年に黒字か赤字かを示す最も重要な指標で、企業で言えば当期損益に該当する。この12月議会補正予算可決後、補正予算を今後100%執行した場合の実質単年度収支は、マイナス15

億6700万円と試算するが、間違いはないか。

**答** 間違いはない。

**問** 財政調整基金（市の貯金）残高も、この12月議会後、最低限必要な10億円を切り、9億600万円となっている。来年度の当初予算も、財政調整基金を取り崩し編成される。今後5年間の当初予算編成後の財政調整基金残高は。

**答** 当初予算の額がある程度見込んできたときに、今後の5年間について見込んでいく。

**問** 9月議会の私の一般質問において、市長の任期中、財政調整基金が枯渇することなく財政運営をおこなっていただけるか聞いたところ、総務部長が、今週末担当から報告があると、9月30

日に答弁している。担当からの報告内容は。

**答** 令和8年度の当初予算編成が固まってくる2月下旬ごろに、見込みを示していきたい。

**問** 財政調整基金が枯渇すれば、災害がおこったとき、経済危機にも陥り財政が立ちゆかなくなる。市民の命や財産を守ることができなくなる可能性もあるが、未だ市長は財政危機宣言を出していない。今後、宣言を出す予定はあるか。

**答** 今の時点で宣言を出す出さないというのは、全くフラットな考え。財政危機宣言を出したからといってどうにかなるものではない。そこから何をやっていくか、それが大事なわけで、それがなくなまま宣言だけを出しても仕方ないと思っている。

### 令和8年度当初予算について

**問** 市が借地している土地について、本当に必要なもの以外は、借りるべきではない。美術館の駐車場は、無駄に借りすぎている。8年度に返却して、固定資産税を支払っていただくという考えはないか。

**答** 美術館図書館の利用状況を踏まえて、駐車場のありかたについて検討していく。



黒川 美克 議員

### 高浜市の組織改革について

**問** 職員配置の基本方針と具体的な基準は。

**答** 管理職とヒアリング等を実施し、職員の勤務状況や、年休取得状況等のデータ、今後の課題等を参考に人事配置を行い、さらにグループ制を導入し、職員を部

に配属しており、部内の人事を部長権限で行い、職員の横断的活用を図っている。

**問** 昇任制度を幹部候補育成するツールとしてどう活用しているか。

**答** 昇任試験では、どのような能力が必要か示している。女性職員の管理職への登用促進については、高浜市特定事業主行動計画を令和7年3月に改正し、管理職の女性職員の割合を30%にする計画に向けて女性職員の意識改革やモチベーションの向上も図り、昇任試験の受験を促している。

### 高浜市の財政改革について

**問** 財政調整基金が10億円を切る見通しは、財

政運営上どの程度深刻な状況と認識しているか。

**答** 令和8年度当初予算編成方針で10億円を下回る見通しは、今後の財政運営において非常に厳しいもので、今後行財政改革に着手することも手法の一つと考えている。安定した財政運営を行うためにも歳入歳出の見直しが必要で、当然身を切る改革も場合によっては必要と考え、今後検討すべき事項であると認識している。

### 高浜市町内会のあり方について

**問** 今後の町内会をどのように位置づけ、どのように発展させていくのか。

**答** 町内会は、一番身近な基礎的な組織で、いろんな活動に関して期待をしている。町内会をどうしていくかということですが、災害時に顔の見える関係性、自助公助といったことを構築するのが一番大事なことだと思っており、そういったことに関して、今後も支援していきたいと思っている。

### 高浜市のゴミ分別問題について

**問** ゴミ分別方法をどう市民に説明していくか。

**答** 広報紙への掲載、LINEでの発信、市ホームページへの掲載、町内会行政連絡会での説明。



柴口 征寛 議員

### 地域の憩いの場づくりと安心して利用できる環境整備について

**問** 県営葭池住宅北側の水路用地や、湯山町地内の普通財産の土地について、憩いの場としての活用は。

**答** 葭池住宅北側の土地は水道施設の管理通路で、市民農園や遊歩道、健康遊具設置としての活用は考えていない。また、湯山町地内の土地についても、売却を基本とした検討を進めており、市民農園などとして活用する予定はない。

**問** 高取児童遊園でのセアカゴケグモ発見事例を踏まえ、公園の安全・衛生管理の対応状況は。

**答** 職員による定期的な巡回や、市民や管理者からの情報提供をもとに、現地確認や注意喚起の掲示などの対応をしている。

### 環境行政について

**問** 資源ごみ拠点見直しの考え方は。

**答** 拠点の見直しは、市が責任をもって実施す

る体制へ移行するため、安全性や公平性の観点から、拠点の適正な位置と配置を定めるものと位置づけている。一定の基準を設け、1拠点あたり250~300世帯を目安に、既存拠点をベースとして公共的な場所を選定し、再編後の拠点数はおおむね100カ所程度を想定している。

**問** 拠点再編に伴う不便さに対して、デジタル情報提供の検討は。

**答** 拠点マップのデジタル化については、窓口対応の中でも必要性を感じており、現在研究している。費用負担の面なども含め、今後の参考として引き続き検討していく。

### 福祉行政について

**問** 県内で補聴器購入助成制度を実施する自治体が増加する中、制度を創設する考えは。

**答** 「国や県が一律の制度を創設すべきであり、市単独での導入は考えていない」という従来の立場を維持している。

**問** 高齢者健診への聴力検査導入への考えは。

**答** 対象者の範囲設定や医療機関の受入体制、財政負担などの課題があることから、現時点では健診項目への聴力検査の追加は難しい。



鈴木 勝彦 議員

### 杉浦市政と第7次総合計画について

**問** 「第7次総合計画」をどのように繋げていくか考え方を問う。

**答** 変えなければならない部分、変えていけないといけない部分が、時代の変化とともにあるが、市民の皆様のお考えは変わらずに、引き継いでいけないといけない部分もあるので、これまで紡いできた精神を継承しつつ、新たな視点を加えてまちづくりを推進していく。

**問** 第7次総合計画を新市長として、どのように進めていくかを問う。

**答** 「たかはま一心」「まちを一つの心」という願いと、「今ある当たり前を一新し、より良い未来を築く」という決意をこめて、市民と行政が共に支え合う仕組みを市政の根本に置くことが大切である。市民の皆さんが主役となり、行政はそれを支え、お互いに補い合う関係づくりを進めていき、将来都市像と向っている

方向は同じだと感じており、私と目指すまちな姿は同じゴールを見据えている。

**問** 重点項目3つの政策の考え方を問う。

**答** 一つ目「大規模災害に備えた地域の防災力の向上」では、企業や団体の専門性や強みを生かして、一次避難所を中心に防災リーダーを育てて「自分たちの地域は自分たちで守る」という、市民主体の災害対応力を高めていく。二つ目「多世代が繋がり楽しめる安心の交流拠点の創出」では、中部公園の役割を整理し直し、災害時には避難所として、平時には世代や立場を超えた人たちが立ち寄れる交流拠点に整備し、高浜の公園づくり全体のモデルケースとして位置づけ、他の地域にも広げていくことで、まち全体に多世代の交流の輪を広げていきたい。三つ目「新しい地域づくり」では、町内会の負担が大きいと感じている資源物分別拠点当番や広報配布などについて、民間委託へ切り替えを進め、事務作業はデジタル化や外部支援を活用し、負担を軽くしていく。こうした取組を積み重ねることで、「地域の繋がりは大切に守りながら、無理なく続けられる新しい地域づくり」を第7次総合計画の考え方と合せて進めていく。



長谷川 広昌 議員

### 財政運営について

**問** 私の先の一般質問において令和10年3月に中期財政計画を策定すると答弁いただいたが、答弁から半年の間でも社会情勢は日々変化し、先が見通せない、複雑で混沌とした状態が続いている。本市の40年にわたる長期財政計画では、それらに対応できないと考える。精度が高く実効性のある中期財政計画の策定を前倒してはどうか。

**答** 必要性は十分認識しているため、中期財政計画といった正式なものではないが、来年度中に精度を高めた財政見通しをお示しする。

**問** 財政運営の基盤となる市税歳入についてはどのように見込み、精度を高めていくのか。

**答** 基本的には様々な要素を積み上げ算定する。特に国の制度改正、状況変化の反映、リスク調整を織り込み精度を高めていく。

**問** 特に法人市民税は変化が激しいため、今後の法人市民税の見込み額についての考え方を示

していただきたいが。

**答** 法人市民税は年度ごとの変動が大きいいため5年間の平均で予測をする。具体的には、過去5年間の年度別実績を並べて、実績が1、2、3、4、5であれば、真ん中の3を基礎的な税収力とみなし、そこに経済動向を加味し、法人市民税見込額を算出する。

**問** 自治体の財政運営は、企業とは異なり、単純に「利益が多く出ているから良い」のではない。自治体が担うのは、儲からない公共サービスであるからこそ、住民福祉の向上と財政規律のバランスが問われる。今後一番大切なことは財政状況が厳しく、例えば歳出削減をすることになっても、市民の皆さんの思いが置き去りにならないような丁寧な対応と住民サービスに直結する事業の質が低下することのないよう安定した財政運営をお願いしたいが、近年大きく右肩上がりしている扶助費について、来年度当初予算計上の考え方は。

**答** 必ず増加するであろう2つの給付費は他の扶助費とは考え方を改め、当初予算時に伸び率を加味し、他の経常経費又は臨時経費を抑えた予算編成とすることで一般会計における支出額を抑え、財政調整基金残高の確保を図っていく。



福岡 里香 議員

### 高浜市公式LINEについて

**問** 市外の方にも公式LINEを活用して頂く為、メニューに観光・お土産等の紹介や、ふるさと納税・クラウドファンディング案内を追加してはどうか。

**答** 必要に応じて項目を追加予定。市民とつくるシティプロモーションサイトも整備中で、わがまちポータルと連携しながら、今回の提案内容も効果的に展開していく。

### 自転車違反の取り締まり強化と安全啓発について

**問** 青切符制度では、ながらスマホや傘差し、無灯火など日常の行為が反則金の対象となり、影響も大きい。事故防止の為に、制度内容をどのように周知していくのか、またSNSなどを活用し幅広く情報を届ける考えはあるか。



**答** 愛知県警察本部や交通安全協会のチラシ等の活用と、公式HPにおいて周知を行う。

### 財政の持続性と資産活用について

**問** 本市の遊休資産や未利用地、市有施設の利活用など、資産を積極的に活かす取組の現状と今後の方向性は。

**答** 資産活用には課題がある。売却したい土地や活用可能な資産を含め売却を検討し、自主財源の確保に努める。

### 多文化共生と地域の担い手づくりについて

**問** 外国籍市民が特定地域に多い状況はあるか。ある場合、災害時の支援や情報伝達の遅れを踏まえ、その地域のリスク分析やリーダー育成・連絡体制づくりをどう考えているか。

**答** 本市においてはないと認識している。

**問** 外国籍市民の高齢化が進む中、介護・在宅ケアでの言語や文化、食習慣への支援をどう考えているのか。現状と今後の方向性は。

**答** 利用者が少ない為、現在は翻訳機で対応。国の動向を見ながら事業者と連携し、必要に応じて多文化理解の促進や啓発に取り組む。



荒川 義孝 議員

### 本市の財政見通しについて ～持続可能な行財政運営に 向けた方策について～

**問** 本市の財政状況の悪化の根本的な原因は。

**答** 学校長寿命化改良工事、扶助費や物価高騰による経費増加など要因が重なった。

**問** 基金残高と経常収支比率以外の実質赤字比率など4指標の「健全化判断比率」から財政状況をどのように評価するか。

**答** これらの指標は法定の早期健全化基準を下回り、年々数値が悪化し、大変厳しい状況。

**問** 行財政改革などの対策を講じてきたか。

**答** 行政経営改革ヒアリング等を実施したが、構造的な歳出改革には至らなかった。

**問** 持続可能な行財政運営に向けて、新たに財政収支試算を見直す必要があるかと考えるが、どのように試算して、将来を見通すか。

**答** 国の財政措置などを活用し、予算査定を通して現在の乖離額を詰める。先行き不透明な部分もあるが、徹底的な歳入歳出の見直しを図

り、確実に予算が組めるように努めていく。

**問** 歳出の抑制は収支バランスを維持するため、常にEBPMによるワイズスペンディングを徹底した予算編成を行い、内部努力や事務事業のスクラップ・アンド・ビルドによる経費削減に努め、「最小の経費で最大の効果」を生み出す必要があると考えるがどのように進めるか。

**答** 臨時的経費の優先順位を付ける。経常経費における近隣自治体の行政サービス水準が上回っている事業の見直しを検討。

**問** 財政主導の予算編成から政策主導の予算編成に転換する実施計画予算（実計予算）の導入が必要かと考えるが見解は。

**答** 近隣他市は実施計画を採用している。効果等を調査し、再導入を検討していきたい。

**問** 厳しい財政状況の中、市民皆様に一層の負担をかけるが、どのように理解をしてもらうか。

**答** 議員の言われた歳入に見合った歳出へ転換を図ることが重要であり、市民皆様に対し、現在の財政状況を公表し、見直しが必要不可欠であることをしっかりと説明し、理解を得たい。

**問** 市民皆様に負担を強いるが、市長の覚悟は。

**答** 事業の取捨選択が必要不可欠である。



橋本 友樹 議員

### 資源ごみについて

**問** 令和8年4月より町内会への委託をやめ、立ち番を廃止することだが、市長の思い、考えにより町内会の負担を減らすことだけが目的なのか。

**答** 近年、町内会員の方々の不公平感、負担感が顕在

化してきており、町内会活動への参加意欲が低下してきていると聞いている。いざという時の助け合い、防災の要とし、みんなで支え合う町内会、新しい地域づくりを進めていただくため、立ち番を廃止する。

**問** 今まで町内会に委託してきたが、町内会が担うようになった経緯は。

**答** 国のリサイクル法の趣旨に基づき、ごみの減量化と資源化を促進するために分別収集を実施している。平成6年度に市内18町内会の会員対象に説明会を開催。市民の意見を伺い、平成7年10月に資源ごみ分別収集を実施、開始した。立ち番の目的は、ゴミの減量とリサイクルの推進、分別方

法の習得と不法投棄の防止、近隣同士の助け合い精神の醸成、の3点。

**問** 令和7年度予算では町内会謝礼として1,149万2,000円計上されている。この金額で民間委託する考えか。

**答** 町内会へのごみ分別事業報奨金で、令和7年度交付額として、1,149万1,760円。この報奨金の範囲内でシルバー人材センターへの委託料に活用し、新たな仕組みを構築することを考えている。

**問** 公共施設等を中心に残し、回収拠点を減らすと調整中であると聞かすが、あまりにも不便でないかとの声もある。民間のところを残すことはできるのか。

**答** 個人所有の拠点については町内会だから確保でき、少し無理をお願いしていた。持続性の観点から、原則個人所有の土地は借用しない形で提案。個人所有地は借りないこととしているが、状況により公平性持続性の観点から、民間の拠点も選択肢になりうる。



ペットボトル

空き瓶

空き缶



北川 広人 議員

### 地域コミュニティについて

**問** 町内会の現状はどうなっているのか。それに対してはどのような認識をもっているのか。

**答** 令和7年10月1日時点で町内会加入率45.2%となっている。令和6年度では3町内会で入会がゼロで

あった。行政的に効率防止の仕組みが弱まることや地域の安心安全に直結するリスクが高まると危機感を持っている。

**問** 町内会加入率低迷の構造的な問題はどこにあるのか。

**答** 高浜市は比較的に若い世代が多いマチであることが考えられる。また、アンケート調査から3割程の方が町内会の活動を知らないと答えているところにも問題があると考えている。要因分析をさらにしていかなければならないと考えている。

**問** 新規転入者向けの町内会入会のPRなどの取組みはしているのか。

**答** 転入手続きの際に、町内会加入促進のチラシを配布している。

また、イベントで加入促進のティッシュの配布を行ったり、加入促進ポスターを作製してPRしている。さらにフリーペーパーでのPRなどを行った。他市で制定している町内会加入促進条例の事例の調査研究を進めている、高浜市のホームページからも入会できるようにしている。



**問** 地域コミュニティの核である町内会は、地域防災の要になると考えているがその考えは。

**答** 地域のつながりは命を守る力であると認識している。今後の高浜市政運営でも最も重要だと考えている。

**問** 町内会に対する今後の方針や総合的な見解はどう考えているのか。

**答** 市内の町内会によっては、問題意識や課題も違うと思うが、町内会には今後も行政として寄り添っていく考えを持っている。

例えば、大規模災害が起こった時には、情報補助などを手助けしてほしい地域コミュニティだと考えている。



野々山 啓 議員

### 生成AIの安全な活用と行政運営の効率化について

**問** 生成AI導入の効果と必要性、検討経緯は。

**答** 文書作成や要約の効率化、表現の精度向上、企画業務への時間確保を効果として認識。令和5年度のDX推進プロジェクトで職員

が試行し有効性を確認し、令和6年度から職員向けに正式導入した。

**問** 庁内ではどのように生成AIを活用し、どのような運用体制を整えているのか。

**答** 高セキュリティ環境の有償サービスを利用し、要約・文書校正・プログラミング支援等に活用。国基準ガイドラインを参考・整備し、研修も継続。DX推進グループが全体を統括。

**問** 生成AIを市民サービス向上へどのように展開していくのか。

**答** 住民サービスへの活用は、他市事例を参考に導入を検討中。職員利用で活用実績を積み重ね、住民サービス展開への検討・研究する方針。

### チョイソコたかはまの現状について

**問** いきいき号の課題を踏まえ、チョイソコ導入の背景・目的、AI運行の概要を伺う。

**答** 停留所の遠さや空白地域、乗り換え負担などの不便を解消し、誰もが使いやすい交通を確保するためデマンド交通を導入。市内200超の停留所から最適ルートで移動できる体制とした。

**問** 登録者・利用者数、利用傾向、周知方法、共通チケット制度と利用状況、停留所配置、アンケート結果を伺う。

**答** 登録2,750人、年間利用11,449人と目標の50%増。高齢者が中心で青木町などで利用多い。広報等で周知し、共通チケットは7割超がチョイソコで利用。満足度は約7割で要望も把握。

**問** アンケート結果の活用、運行改善、AI改善、利用者リテラシー向上、本運行への準備状況を伺う。

**答** 事業者と情報共有し接遇・利便性を改善。AIの検索精度向上や、利用方法の周知も強化。市役所待合スペースへの誘導案内の改善や、来年度もアンケートを実施し、地域公共交通会議を経て令和9年4月に本運行へ移行予定。

# 議場に行かなくても「本会議」が見られます

インターネット回線に接続されているパソコンやスマートフォンから、  
ライブ配信や録画配信をご覧いただけます。

- ①ライブ配信で、本会議の視聴ができます。 ※告示日と各委員会等の配信はありません。
- ②本会議開始時刻は、いずれも午前10時開始予定です。
- ③録画配信は、ライブ配信後、概ね2週間後を予定しています。

公式ホームページからも  
リンクしています。

「トップページ」→「高浜市議会」→「議会映像配信」  
(※ご覧になりたい「定例会」・「臨時会」を選んでください。)



！  
ご注意ください

※視聴は無料ですが、通信料などをご視聴者の皆様の負担となります。動画配信のため、ご契約内容によっては通信料等が高額となる場合がありますので、契約内容のご確認とご納得の上で視聴願います。

## 3月定例会の日程（予定）

定例会は3月・6月・9月・12月の年4回開催されます。会議の開始時間は、いずれも午前10時の予定です。一般質問では、市政全般にわたって論議が展開されます。ここに記載のある委員会も傍聴できます。

月日	曜	会議日程	摘要
2月19日	木	告示日	議会運営委員会
2月26日	木	本会議 第1日 <b>ライブ配信</b>	開会、施政方針、教育行政方針、議案上程、説明
3月 3日	火	本会議 第2日 <b>ライブ配信</b>	一般質問
3月 4日	水	本会議 第3日 <b>ライブ配信</b>	一般質問
3月10日	火	本会議 第4日 <b>ライブ配信</b>	総括質疑、予算特別委員会設置、議案委員会付託
3月12日	木	予算特別委員会	付託案件審査
3月13日	金	予算特別委員会	付託案件審査
3月17日	火	総務建設委員会	付託案件審査
3月18日	水	福祉文教委員会	付託案件審査
3月26日	木	本会議 第5日 <b>ライブ配信</b>	委員長報告、委員長報告に対する質疑、討論、採決、閉会

※今後の協議により、変更となる場合があります。

## 令和8年1月23日、高浜市商工会と市議会による 広聴会を開催しました。

市内の経営者と市議会議員が一堂に会し、地域経済が直面する課題について率直な意見を伺いました。

人材確保については、業種を問わず人手不足を実感する声が多く聞かれ、新卒採用だけでは対応が難しい現状が共有されました。中途採用や通年採用への移行に加え、高齢者やスポットワーカーの活用、スマートフォンアプリ等を活用したスポットワーク型の人材マッチングサービスを活用する事例など、多様な働き方を取り入れる重要性が示されました。



外国人への対応では、外国人材が重要な労働力となる一方、日本を取り巻く経済状況の変化も影響し、外国人材の受け入れ環境が変化しているとの指摘もありました。雇用面だけでなく、生活支援や地域ルールの理解などについて、企業の努力とともに行政の多言語対応の必要性も指摘されました。

事業承継については、後継者不足に加え、親子間や世代間の価値観の違いによるコミュニケーションの難しさが課題として挙げられ、地域の産業や暮らしを支える事業の継続の重要性が語られました。



併せて、商工会からは市外での高浜市の魅力発信や「高浜とりめし」のPR、個人事業主の採用支援、「年収の壁」など就労時間調整を巡る課題について国への働きかけ、SNSを活用した採用支援、行政サービスのインドネシア語対応などの要望が寄せられました。

市議会では、今回いただいた現場の声を、今後の議会での議論や政策提言に生かしていきます。

### 編集 後記

日差しが春のおとずれを告げる頃となりました。  
年を重ねるごとに1年があっという間で、だからこそ、1日1日を大切にしたいと思う今日この頃です。  
そして、健康も毎日の積み重ねだと思えます。  
季節の変わり目は特に栄養、休養をしっかりとって、上手に乗り切ってまいりましょう。

また、この季節、人生の節目を迎えられる市民の皆様も多くいらっしゃると思います。皆様の新たな門出をお祝い申し上げます、今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

広報・広聴委員会 委員長 長谷川 広昌

